

福生市消防団について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 消防団活動の現状と今後の課題について伺う。

市長 消防団活動として、火災での消火活動や台風接近時の警戒のほか、ポンプ操法審査会に向けた訓練や日頃の機関訓練、また、消防訓練所での各種研修の受講、さらには各町会でやる防災訓練や応急救護講習会での指導を行っている。課題である団員確保については、処遇改善、

PR動画の作成等を支援しているが、今後も消防団と意見交換を行い、団員確保に取り組んでいく。

公園の現状と今後の課題について

質問 公園の現状と今後の課題について伺う。

市長 本市では、公園維持管理計画の策定作業を令和4年度から5年度にかけて進めている。令和4年度は、公園の現状整理や分析、現地での実態調査のほか、無作為に抽出した18歳以上の市民や市内小学校5年生、公園ボランティアにご登録いただいている団体や個人、実際に公園を利用している方などを対象にしたアンケートによる意見聴取を行い、現在はこれらの実態調査や市民アンケートから得た情報を基礎資料として課題を抽出し、公園整備の方向性と基本方針の検討を進めている。



▲ポンプ操法審査会の様子

避難所等について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 台風等で避難指示が出された際、避難所にたどり着けない市民をつくらないための市の対応を伺う。

市長 本市では、東京都災害情報システム(D I S)等を活用し、災害対策本部や各避難所で情報を共有することで、仮に避難所がいっぱいでも、空きがある避難所へ案内できるようにしたほか、体育館が満員になった際に教室を避難スペースとして

有効活用する優先順位の設定等を行うなど、体制を整えている。

一時避難場所としてのみずくらいど公園及び日光橋公園について

質問 みずくらいど公園、日光橋公園設置の装備品を使用しての避難訓練実施を希望する声を耳にする。自主防災組織や希望者等を対象に総合防災訓練の一環としての実施が必要と考えるが、市の所見を伺う。

市長 本市では災害等に対応するため、初動活動体制の確認と、指定避難所の開設に重きを置いて総合防災訓練を実施している。今後は自主防災組織などの関係機関と意見交換を重ねた上でより実効性のあるものとなるよう充実に努めていくが、地域の皆様には日頃の防災訓練等でも、みずくらいど公園と日光橋公園の防災設備を活用していただきたい。



▲みずくらいど公園の防災設備

感染症への対応について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 予防接種法に基づく感染症に対する定期接種の現状と対応について伺う。

市長 現在A類疾病として14種類、B類疾病として2種類の計16種類の定期接種を行っている。BCGの定期接種は保健センターで集団接種を、その他の定期接種は各医療機関で個別接種を実施している。BCG集団接種については、新型コロナウイルス

感染症への対応として、令和2年6月より実施回数と定員を細分化し3密を回避して進め、現在はコロナ禍前と同様の月1回の接種に戻している。接種率について大きな影響はなく、市ホームページ等でコロナ禍であっても予定どおり接種を受けるように勧めた結果だと考えている。今後も接種希望者が速やかに定期接種を受けられるよう関係機関等と連

携して定期接種実施に努めていく。

質問 接種率に影響はないとのことだが、新型コロナウイルス感染症のために接種できなかった方がいたのか等、予防接種ごとの変化を伺う。

福祉保健部参事 新型コロナウイルス感染症の影響の有無を含めて、個々の事情は把握していない。小児の予防接種全体の接種率に大きな変化はなかった。



特定不妊治療の助成について



正和会
仲間 正司 議員



質問 1回当たりの平均費用は体外受精が38万円、顕微授精が43万円と、高額な費用が支障となり、子どもを授かること自体を諦める人がいることで、少子化が進むと考えられる。令和4年4月より特定不妊治療が公的医療保険の適用対象となり、自己負担が3割になったことで、金銭的なハードルは大幅に低くなったが、自己負担を減らすための補助を

することはできないか。また、公的医療保険の適用外でも有効な治療があると思われるが、これについて補助を行うことを考えているか。市の所見を伺う。

市長 体外受精及び顕微授精等の特定不妊治療に対し、市では利用者の経済的負担軽減のため、平成31年4月より東京都の特定不妊治療費助成事業の承認通知を受けている方を

対象に、市独自の特定不妊治療費助成事業を実施してきた。保険適用により受付は終了し、現在は経過措置として申請時の助成を行っている。保険適用後の助成について、現状では、保険適用後の助成を既に実施しているのは東京都26市中4市となっている。今後、当市においても、特定不妊治療助成の実施に向けて検討してまいりたい。



がん対策について



公明党
堀 雄一郎 議員



質問 がん検診受診率の目標について、国は胃、肺、大腸、乳、子宮頸部の五つのがんについて検診受診率60%を目指すとしているが、本市のがん検診の受診率の推移と今後の取り組みについて伺う。

市長 がん検診受診率の目標について、平成24年度から令和3年度までの10年間では、がん検診推進事業の対象年齢が変更されたため、上昇、

下降が見られるが、令和3年度からは復調傾向にある。がん検診を受けることの重要性など事業のPRに努めるとともに、事業の実施方法についても検証を行い、引き続き受診率向上に努める。

自転車駐車場の設備改修等について

質問 市の自転車駐車場は設備の老朽化が進み、開設時と利用状況も変化している。原付等の駐車スパー

スを拡大したり、もっと余裕を持って利用できる駐車場に改良をという声もあるが、自転車駐車場の設備改修について、市の所見を伺う。

市長 市が管理する自転車駐車場8か所について、経年劣化や不具合が目立ち始めている。今後、自転車駐車場を改修する際は利用者の意見も参考にし、現状に即した自転車駐車場の整備に取り組んでいく。



▲拝島駅北口自転車駐車場